

ヤクザル調査隊 30 周年記念公開シンポジウム

ヤクザル調査隊は、京都大学などの研究者が、ボランティアの学生とともに、毎年夏に屋久島でニホンザルの調査を行っているグループです。1300人以上の人が参加した、30年間の成果を公開します。



1368人で解き明かした 屋久島のサルの暮らし

山極 壽一（京都大学：1990・1993 年参加）

学生が作った屋久島のサル学

好廣 真一（龍谷大学：1989－2010 年参加）

ヤクザル調査隊の始まりと、
海岸域・山岳域の分布調査

半谷 吾郎（京都大学：1993－2018 年参加）

ヤクスギの森に住むニホンザルの暮らし

本田 剛章（京都大学：2013－2018 年参加）

屋久島山頂部のササ原に生息するニホンザル

松原始（東京大学：1992－2000 年参加）

実録！ヤクザル調査 24 時

お問い合わせ：〒484-8506 愛知県犬山市官林 41-2 京都大学霊長類研究所

半谷吾郎 (hanya.goro.5z@kyoto-u.ac.jp)

主催：ヤクザル調査隊 共催：京都大学霊長類研究所 後援：公益社団法人日本動物園水族館協会

2019 年 4 月 21 日 (日)

12:25-16:00 (11:30 開場)

東京大学 弥生講堂

一条ホール

東京メトロ 東大前駅（南北線）徒歩 1 分

参加費無料 (事前申込制)

席に余裕があれば、当日参加も可能です。

参加申込は調査隊 30 周年事業 HP から、

もしくはお問い合わせ先へ。

<http://yakuzaru.php.xdomain.jp/30th/symposium.html>

(ヤクザル調査隊 30 周年事業 HP)



世界自然遺産である屋久島では、亜熱帯性植物の混じる海岸部からヤクシマダケ草原で覆われる山頂部まで、1900mもの標高差に応じ、環境が大きく変化します。ヤクザル調査隊はこの多様な環境に住む二ホンザルの分布を解明することを目的として1989年に結成され、研究者だけでなく、学生も主体となって調査を行ってきました。30年に及ぶ調査を経て、二ホンザルの社会が長期にわたってどのように変動しているのか、世界的にも貴重なデータが蓄積されています。本講演会は、調査隊の研究成果と、その歴史を紹介します。

ヤクザル調査隊 30周年記念公開シンポジウム

1368人で解き明かした屋久島のサルの暮らし

学生が作った屋久島のサル学

山極壽一（1990、1993年参加）

京都大学総長



ヤクザル調査隊の始まりと、 海岸域・山岳域の分布調査

好廣眞一（1989-2010年参加）

龍谷大学経営学部名誉教授



屋久島での二ホンザル研究は、1970年代に西部海岸部で始まりました。学生が主体だった当時の調査の精神は、ヤクザル調査隊にも受け継がれていると思います。ヤクザル調査隊が始まる前の、1970年代、1980年代の調査の様子を振り返ってみます。

西部海岸部での研究の深化と裏腹に、1980年代以降、屋久島では二ホンザルの農作物被害が進行していました。その被害対策に役立つこと、そして1900m以上の標高差に応じて暮らす二ホンザルの全島分布を解明することを目的として、「ヤクザル調査隊」が結成されました。

ヤクスギの森に住む二ホンザルの暮らし

半谷吾郎（1993-2018年参加）

京都大学霊長類研究所准教授



屋久島山頂部のササ原に生息する二ホンザル

本田剛章（2013-2018年参加）

京都大学霊長類研究所大学院生



1990年代に全島分布調査が完成したあと、ヤクザル調査隊は標高1000m付近の西部のヤクスギの森で、長期調査を開始しました。先行して研究が進んでいた海岸部と比較して、興味深い社会の違いが見えてきました。

屋久島の標高1700m以上は、ヤクシマヤダケ一面に覆われるササ原です。西部海岸部とも、ヤクスギ林とも異なる、独特な環境に暮らす山頂部の二ホンザルたちの生態が明らかになりつつあります。

実録！ヤクザル調査24時

松原始（1992-2000年参加）

東京大学総合研究博物館特任准教授



研究成果を得るための調査の現場は汗と泥まみれ、本人は必死、横から見れば悲喜劇の連続です。ここでは調査隊の日々の暮らしやエピソードを、現場からの視点でご紹介します。

講演スケジュール

12:25-12:30	あいさつ、趣旨説明
12:30-12:55	講演 1 山極壽一
12:55-13:20	講演 2 好廣眞一
13:20-13:45	講演 3 半谷吾郎
13:45-13:55	休憩
13:55-14:20	講演 4 本田剛章
14:20-14:45	講演 5 松原始
14:45-15:00	休憩
15:00-16:00	パネルディスカッション

2019.4.21

東京大学弥生講堂一条ホール

12:25-16:00(11:30 開場)

参加費無料(事前申込制)



アクセス

東京メトロ

東大前駅(南北線) 徒歩1分

根津駅(千代田線) 徒歩8分

お問い合わせ

半谷吾郎

hanya.goro.5z@kyoto-u.ac.jp



蘇る調査隊の記憶

サルと屋久島

「旅するミシン店」より出版

NOW ON SALE!

主催

ヤクザル調査隊

共催

京都大学霊長類研究所

後援

公益社団法人日本動物園水族館協会



参加申し込みはこちら！

ヤクザル調査隊30周年記念事業HP

<http://yakuzaru.php.xdomain.jp/30th/symposium.html>